



釜石市支援についての決議書

釜石市では、釜石市復興まちづくり基本計画（スクラムかまいし復興プラン）に基づき、次世代に誇れるまちの創造を目指して、まちの復旧・復興に取り組んでおられます。

この復興プランでは、様々なネットワークづくりを通じた絆と支えあいを大切にするまちづくりや、強く生き抜く子どもを育てるまちづくり、また、歴史や文化・スポーツを生かしたまちづくりを基本目標の一つとして位置付けています。

その復興プランの中に、「2019年ラグビーワールドカップ」誘致構想と震災メモリアルパーク整備構想、被災地区沿岸に防潮堤を整備し、さらにその内側に盛土・植栽を行なうグリーンベルト構想があります。

釜石市への継続支援のあり方については、昨年以來、嚶鳴協議会としてもテーマの一つとなっていましたが、去る6月5日開催の市町長会議での討論を受け、嚶鳴協議会としてラグビーワールドカップ誘致構想と震災メモリアルパーク整備構想ならびにグリーンベルト構想に関して、下記のとおり支援事業を行うことを決議します。

【記】

1 支援内容

(1) 釜石市での「2019年ラグビーワールドカップ」実現に向けた支援

ア 「2019年ラグビーワールドカップ」の釜石市での開催に対し、嚶鳴協議会参加自治体連名で支援する。

イ 各自治体が可能な範囲で誘致活動についての告知、情報発信を行う。

ウ その他、誘致に必要な支援を行う。

(2) 震災メモリアルパーク及びグリーンベルトへの植樹・植栽協力

ア 釜石市が被災地区沿岸に震災メモリアルパーク及びグリーンベルトを整備する際、将来に向けた嚶鳴協議会参加自治体と釜石市の交流の礎となるよう、各自治体市民が参加しての植樹や植栽の整備事業を行う嚶鳴協議会参加自治体の「絆の森」づくりを釜石市に提案する。



イ 事業費に関しては、

- ①自治体独自で本事業（釜石市支援）基金を創出して市民からの寄付を募る。
- ②自治体独自で基金を創出できない場合、各自治体は、市民への支援案内を積極的に行い、支援の受け皿として釜石市に基金を創出していただく。
などの方法が考えられる。

2 その他

- (1) 事業実施に係る詳細事項は、釜石市の進捗状況にあわせて、その都度協議し決定する。
- (2) 本事業に関する、本年度の調整窓口は、PHP研究所地域経営研究センターとする。

平成24年10月12日
